

第 59 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2019. 11. 19

『ミニリンメルト OD 錠』

フェリング・ファーマ伊藤様

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：熊山ともみ、木村亜希子、味田村俊次、薦田麻莉子、清田好美、一杉有妃、
鈴木里菜

【効能・効果】

- ・尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症
- ・中枢性尿崩症

【用法・用量】

- ・尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症

通常、1日1回就寝前にデスモプレシンとして120 μ gから経口投与し、効果不十分な場合は1日1回就寝前に240 μ gに増量することができる。

- ・中枢性尿崩症

通常、デスモプレシンとして1回60~120 μ gを1日1~3回経口投与する。投与量は患者の飲水量、尿量、尿比重、尿浸透圧により適宜増減するが、1投与量は240 μ gまでとし、1日量は720 μ gを超えないこと。

【禁忌】

- ・低ナトリウム血症患者
- ・習慣性又は心因性多飲症の患者
- ・心不全の既往歴又はその疑いがあり利尿薬による治療を要する患者
- ・抗利尿ホルモン不適合分泌症候群の患者
- ・中等度以上の腎機能障害のある患者
- ・本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副作用】

重大な副作用

- ・脳浮腫、昏睡、痙攣等を伴う重篤な水中毒

【特徴】

- ・初のデスマプレシン経口製剤
- ・口腔内崩壊錠で水なしで服用可能。口の中で速やかに溶ける。
- ・デスマプレシンは夜尿症治療の高いレベルのエビデンスによる推奨に位置づけられている

【考察】

- ・ミニリンメルトは5規格あり、小児夜尿症の適応は120 μ gと240 μ gであるため適応症の確認が必要。
- ・副作用に水中毒がある。デスマプレシンは腎臓における水の再吸収を促進することで夜尿症を改善、そのため体内で水分貯蓄が起こるためである。副作用を防ぐためには過度の飲水は避け、水分摂取の管理が大切。投与後2~3時間前から翌朝までの水分摂取量はコップ1杯程度に抑えるよう指導が必要。
- ・夜尿症治療には生活リズムの改善がまずは大切。薬物療法に合わせて生活習慣の改善指導も行う必要がある。

【質疑応答】

Q：ミニリンメルトの味は？

→A：無味無臭

Q：舌下の必要があるか、飲み込んでもよいか？

→A：口の中ですぐに溶けるため保持時間の定義はない。飲み込んでも胃で吸入されるため問題ないが、基本的には口腔内で溶かして服用。

Q 就寝前服用後の水分制限は？

→A：目安コップ1杯100ccまで。どうしても喉が渇く場合は氷を舐める等でも水分摂取を抑えられる。